

ど上回っているとされる。合金メーカーはUBCを足元は130円までで購入しているが、新塊価格からして130円以上では収益が合わないため、脱酸メーカーに太刀打ちできないという。

なお、合金メーカーの買い気はまだ旺盛。エコカー減税が終了するとはいえ、少なくとも9月までは合金の受注残がある。輸入塊があるといっても原料需要のすべてを満たすには不十分。短期的

には反落の恐れが指摘されている新塊相場も、中期的にみれば堅調。そうした中で需要家との来クオーター(10～12月)の値決め交渉を有利に進めるためにも、ある程度の在庫は確保しておきたいところであり、事実「今まであまり買い気を見せなかったメーカーからも強い引き合いが来ている」(前出の大手問屋)という。



7月の銅スクラップ月刊レポート及び8月の見通し 橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

自動車・住宅が回復基調
電気銅輸入は93.1%増

概況:前半、米・中・欧の強・弱が交錯する経済指標を背景にLME銅も6400ドル近辺で一進一退の動き、ところがEUのストレステスト(銀行査定)の概要が発表されるとPIIGS危機に一応のめどがつくのではとの思惑からLME銅も6600ドルまで上昇。後半は中国の1～6月期のGDPが1.1%だったことや、米の6月の新設住宅販売数が前月比で大幅上昇したこと、欧州のストレステストの結果が良好だったことからLME銅も7月29日現在 7225ドル 建値 66万と大幅に上昇となった。

6月の経済指標:日本自動車工業会発表によると自動車生産台数は前月比+21.5%の86万1045台。国土交通省発表の新設住宅着工戸数は前月比+14.7%の6万8688戸数であった(前年同期+8.7%)となった。

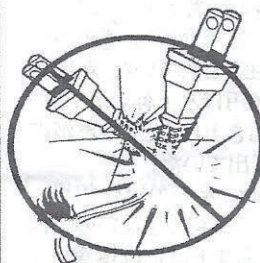
貿易関連指標:財務省貿易統計によれば、輸出では電気銅が4万1772トン(前月比+9.8%)、スク

ラップは1万8103トン(前月比+11.5%)となった。輸入は電気銅が7233トン(前月比+93.1%)、スク

タイスパーク 電線

スパーク対策電線

特許出願中



「安心・安全を追求する」
行田電線のこだわりが、
電源コードのスパークによる
電気火災・火傷事故を
防止するタイスパーク電線を
開発しました。

ここが違う

- ① スパークによる熱で
絶縁体が吸収し
発火をおこせる特殊設計。
- ② 導体が断線したとき
発生するスパーク火災に
対する
強度100倍と
当社一軒電線。



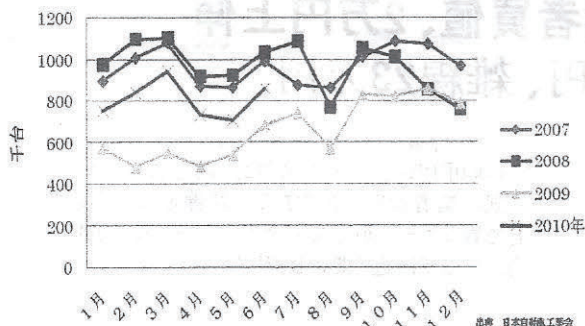
行田電線株式会社

http://www.yukita.co.jp/

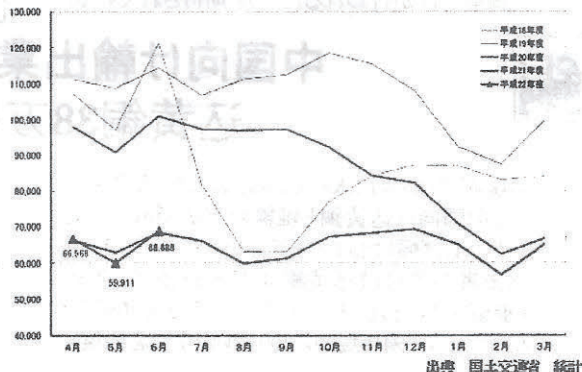
本社:大阪府大阪市東淀川区1丁目2番11号
TEL:06-6433-5811 FAX:06-6433-3334
工場:大阪府大阪市東淀川区1丁目15番13号
東京支店:東京都港区新橋7丁目15番13号
TEL:03-3585-3825 FAX:03-3585-3826 海外工場:上海・湖州

自動車生産台数推移	4月	5月	6月
生産台数	73万1794台	70万8453台	86万1045台
前月比	-22.6%	-3.2%	+21.5%
前年同期	-12.1%	+11.8%	+27.2%

自動車生産実績/計画



新設住宅着工戸数推移	4月	5月	6月
日本新設住宅着工数	6万6688戸	5万9911戸	6万8688戸
前月比	+2.4%	-10%	+14.7%
前年同期	-0.6%	-5.1%	+8.7%



ラップが8145トン(前月比+0.5%)となった。

6月の国内指標:日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前月比+4.7%の7万6410トン(前年同期+22%)となった。日本電線工業会発表の出荷速報(推定)では前月比+12.9%の5万6100トン(前年同期+19.4%)となった。

見通し:6月は伸銅品生産が前月比で上昇し4カ月連続の7万トン台回復へ。自動車生産も前月比で21.5%の大幅上昇の3か月ぶりの86万台と検討。銅電線出荷量は前月比+13%の5万6,100トンといよいよ回復へ。新設住宅着工数も2カ月ぶり6万8千戸台とこちらも回復基調へ。銅原料に関しては少なくとも9月までは伸銅品・黄銅棒生産回復ペースにあり国内需要も高止まり、ただ供給は銅建値が68万-70万程度で推移すれば生産回復しだした4月分の原料が夏季休業前のリスク売りから放出されるとの思惑から改善するのではないかと。銅原料全体では需要急回復に伴う原料不足から電気銅輸入が+93.1%とほぼ倍増していることから9月までは供給不足が続

く。価格は銅建値ベースの銅・合金スクラップは日本の国内の製造業生産計画が、エコカー減税の打ち切りを受け10月以降下振れするのではとの思惑はあるものの、欧州ストレステストの結果がよかったことで目先大きなショックはないとの予測から、米中欧の景気回復期待を受けてLMEに関しては下値7000ドル上値7400ドル。銅・銅合金スクラップに関しては 銅建値で68万程度と予測している。

鉛

減摩合金

鉛 洋・半田 洋

錫 洋・鉛管板屑

株式会社 國 樹 商 店

〒556-0011 本 社 大阪市浪速区難波中1-16-8

電話 06-6649-0045 代表

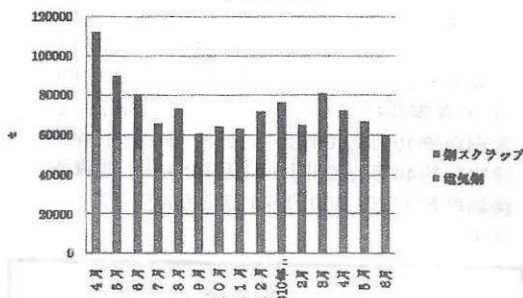
〒556-0023 工 場 大阪市浪速区稻荷1-11-5

電話 06-6561-7331~2

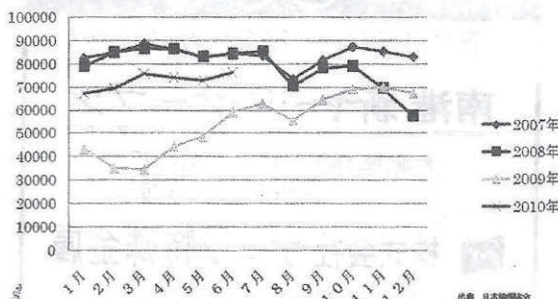
輸出	4月	5月	6月
電気銅	4万3860t	4万6296t	4万1772t
前月比	-20.9%	+5.6%	-9.8%
スクラップ	2万8310t	2万456t	1万8103t
前月比	+11.5%	-27.8%	-11.5%

輸入	4月	5月	6月
電気銅	4126t	2408t	7233t
前月比	+132.7%	-40.18%	+93.1%
スクラップ	7649t	8108t	8145t
前月比	+44.4%	+6%	+0.5%

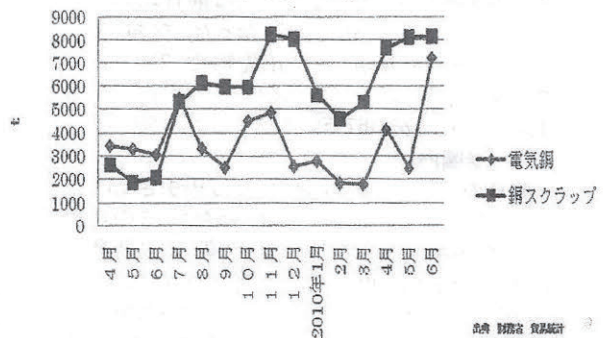
09-10年銅輸出推移



伸銅品生産推移



09-10年銅輸入推移



銅電線出荷推移

